

# 草の根 最前線

そろいの緑色のビブス(ベスト)を着た子どもたち三十人が豊橋市中心部を清掃している。手には、赤色や緑色でデザインされたごみ袋。目指すは、ディズニールンドの掃除担当キャストのような「魅せる」ごみ拾いだ。

「大切なのは拾うことだけでなく、捨てない街をつくること」と話すのは、アートディレクターの水谷孝次さん(六六)。三年前からこども未来館ここにこ(豊橋市松葉町)や地元商店街と協力し、地元の子どもたちによるごみ拾いや子どもたちの目

## 清掃、催しで地域に新風



子どもたちの笑顔を印刷した傘を広げる水谷さん＝豊橋市松葉町のこども未来館ここにこで

メリーイントヨハシ(豊橋市)

線で商店街を紹介する地図作りなどのイベント

ト「メリーイントヨハシ」を続ける。きっかけは、周辺のごみ拾いをするここに

【メモ】「NPO法人メリープロジェクト」(東京)代表の水谷孝次さんとこども未来館ここにこ、地元商店街が2012年5月に始めた。地元の子どもたちによるごみ拾いや子どもたちの目線で商店街を紹介する地図作りをしている。

こ前副館長の豊田達也さん(五八)だった。「きれいに子どもを迎えたい」と自分が休みの日の早朝も掃除していた。その姿に胸を打たれた水谷さんは「豊橋を元気な街にした」と活動を始めた。

豊田さんは、市内のダンススクールや少年野球チームに直談判し、協力を募った。二〇一三年には、参加した子どもたちの笑顔を水谷さんが写真に撮り、二層×三層の旗に印刷。地元商店街のアーケードにつり下げた。

豊田さんは「行政だけでなく、NPOや地域の人々と対等に意見を出し合い、活動を広げていきたい」と語る。

水谷さんは「豊橋を愛している豊田さんと一緒にだからできた。海、川、山があり恵まれた土地を、地元の人にも気付いてもらえるよう、今後も関わっていきたい」と話す。

(相沢紀衣)

発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

結び

郷音

